

経営比較分析表（令和5年度決算）

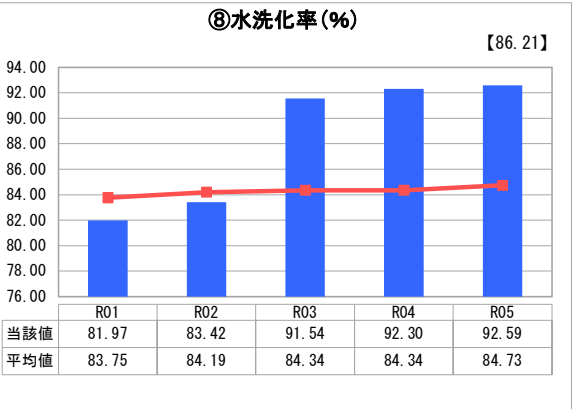
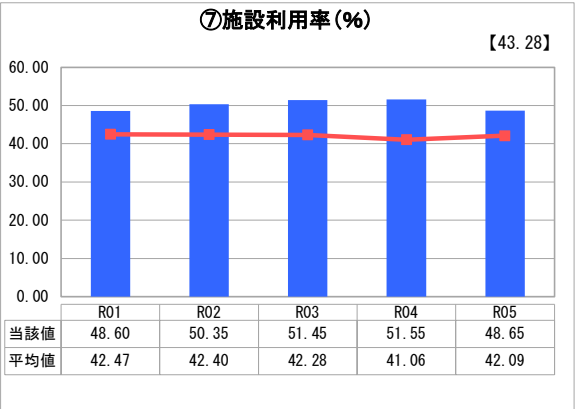
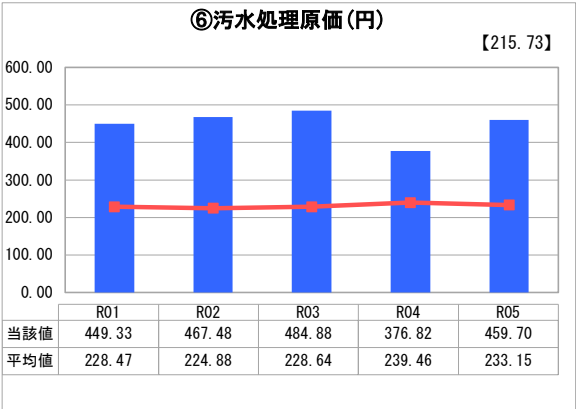
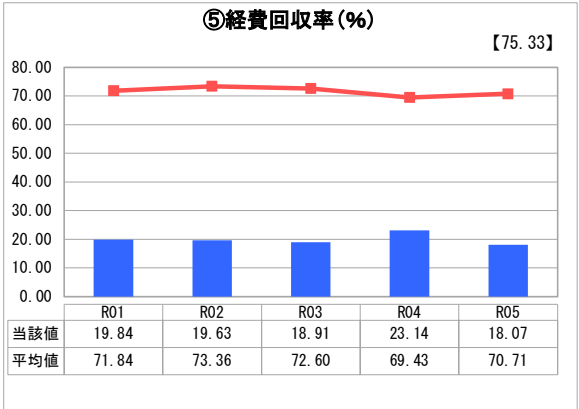
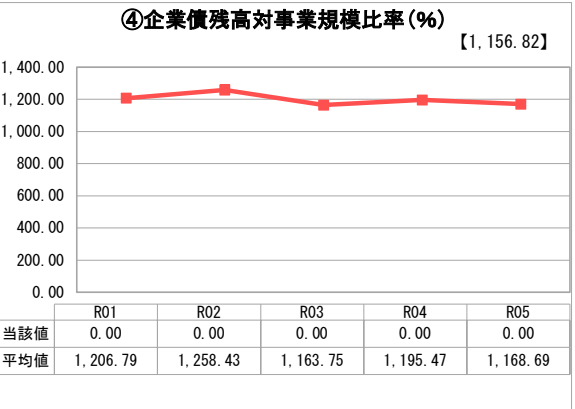
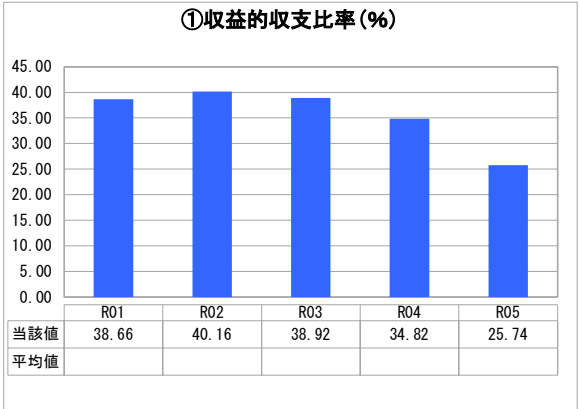
群馬県 川場村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	88.47	96.78	1,760

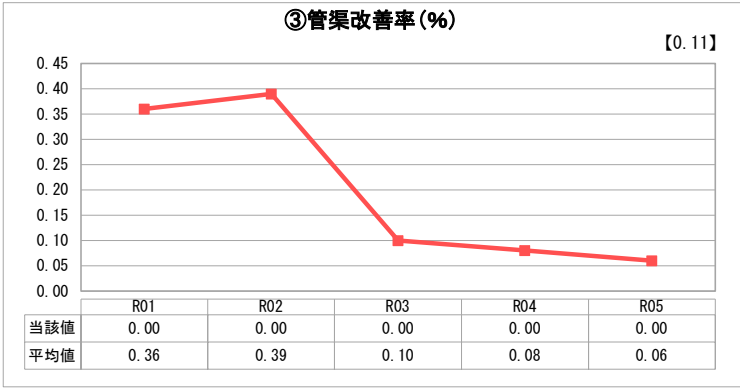
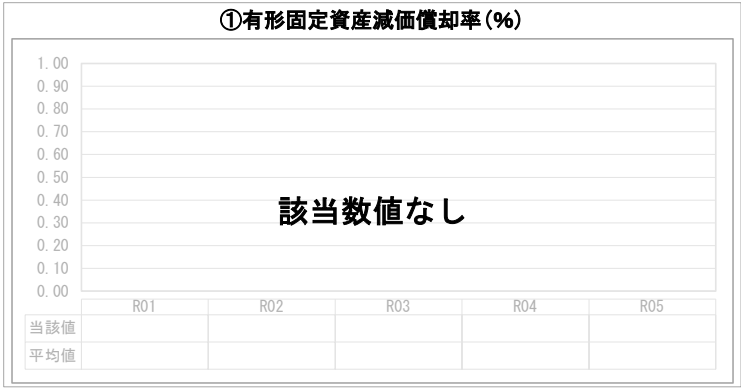
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,066	85.25	35.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,685	1.58	1,699.37

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

「収益的収支比率」は前年と比較し、約9%低下している。これは、公営企業会計への移行に伴う打ち切り決算により、令和5年度第4期分の下水道料金約1,070万円が未収となったことが要因である。

「経費回収率」は約4%低下しているが、これは「収益的収支比率」と同じく公営企業会計への移行に伴う打ち切り決算により、令和5年度第4期分の下水道料金が未収となったことが要因である。

「汚水処理原価」は修繕箇所が増加や、機器の更新により増加しており、今後、管渠の更新時期にさしかかるとさらに増加することが予想される。

「企業債残高対事業規模比率」は、地方債の償還をすべて一般会計負担としているため、比率は生じない。

「施設利用率」については人口減少に伴う処理水量の減少により、低下していると考えられる。

「水洗化率」については、令和5年度に下水道への新規加入が10件あったため、上昇している。

経営の健全性・効率性については、経営の大部分を繰入金で賄っている現状であり、健全性・効率性ともに良くない状態が続いている。

2. 老朽化の状況について

浄化センターは、経年劣化により修繕箇所が増加している。令和4年度から電気設備の更新工事を繰り越しており、令和5年度に実施した。

ストックマネジメント計画が更新の時期を迎えるため、先に計画の更新を実施、今後の維持管理の目安とする。

管渠については耐用年数を迎えてはいないが、点検・調査を行っていくことで、異常箇所を早期に発見し、維持管理に努めていく。

全体総括

増加してきている修繕費に対して、収入が増加していないため、厳しい経営状況となっている。また、経営の大部分を繰入金で賄っており、一般会計への負担も増大している。

令和3年度末に料金の改定を行ったものの、現状経費回収率はかなり低迷しているため、経営戦略等に基づき、徐々に料金改定を行っていく必要がある。

ストックマネジメント計画による計画的な維持管理をし、経費の平準化にも努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。